

受講番号 18024 学校名 高知追手前高等学校 氏名 今橋 英二

研究の背景

研究対象(学年、クラス等) 2年1H 人文コース 生徒数 28名  
 科目名 英語 単位数(授業時数) 4時間 使用教科書名 Prominence English

クラスの様子・特徴

完全新課程である2年生を今年担当している。昨年度彼らが1年生の時に担当していて感じたことは、「語彙が少ない」「単語をしっかりと書けない」ということであった。中学校の時数が少ないためか、基礎的な単語が書けない生徒が本当に多い。

問題の確定

大学の入試に直結する長文読解力を身につけさせるための、語彙力をつけるにはどのようにすればいいのだろうか。

予備調査

A 授業の観察

全体的におとなしく、非常に授業を行いやすいクラスではあるが、本当に授業ができていないのかと言われると疑問が残る。基本的事項が分かっていない生徒が数人おり、文法説明などにも基本的事項を盛り込むようにしている。長文に苦手意識も持っている。

B 生徒による授業評価

声の大きさや説明の仕方に関しては満足してもらえているようである。自己評価については、大学の入試に直結する長文読解力を身につけたいと考えている者が過半数であるが、語彙力を増やすための毎日の単語テストをしっかりと行えないと思ってる生徒も多い。

C 学力データ

望月テスト5000語レベル  
 ……1年7月実施、2504  
 望月テスト5000語レベル  
 ……2年4月実施、2723

リサーチ・クエスチョン

大学入試に直結する長文読解に必要な語彙力をつけるには、どうすればよいか。

仮説・実践・検証

仮説1

毎日語彙のテストを行うことで、語彙力がつくであろう。

実践1

4月に第2回の望月テストを実施した。1年次に比べて220語あまり伸びてはいたが、まだまだ語彙数が少ないように思われた。桐原書店「データベース4500」を購入させ、英語の時間に毎回テストを行った。テストではいい点を取りたい生徒が多く、休み時間にも勉強していて、成果がでてくると思われた。

検証1

12月に第3回の望月テストを実施した。第2回の2723語から比べると、3370語と635語近くも伸びており、単語テストの効果がかなりあったように思われる。

仮説2

教科書に出てきた語を生徒自身に単語帳で調べさせたり、教員側がそのページを見ながら解説することにより定着するであろう。

実践2

教科書に出てきた分からない語を、生徒自身に「データベース4500」を使って調べさせた。その際、アクセントや派生語にも注意させ、また接頭語や接尾語にも注意を払うように指導した。

検証2

単語のテストの形式を少しでも変えようものなら取りこぼすなど、少しひねっただけで点数が取れなかった。また例文でなく、単語の意味だけで覚えているようで、文が長くなると覚えることに四苦八苦していた。しかし、単語を様々な観点から、勉強することにより、教科書理解が分かりやすくなったとの声が多く聞かれ、効果的であったように思える。

仮説3

実践3

検証3

研究の成果

検証1でも述べたが、望月テストの結果が第2回の2723語から比べると、3370語と635語近くも伸びていた。中には1000語以上伸びている生徒もあり、「長文が前より読めるようになってきた。」「英作文でのスペルミスが少なくなってきた。」などの意見が数多く聞かれた。また、4月からの単語テストの成果が如実に表れている生徒は、ますます英語学習に対してやる気をおこしている。

今後の授業改善の課題

毎回のテストに対して、時間が許せばコメントを書くなどして、生徒のやる気を奮い立たせるようになってきた。時間がなくなるときには満点の生徒にはコメントを書いた。コメントがあったら、やる気が出たという生徒が多く、語彙力指導をやって生徒ができる喜びを感じてくれたことが良かったので、今後はできるだけ生徒を勇気づけるような声掛けなどをしていければと思う。

リサーチについての問合せ先:

職場電話

088-873-6141

電子メール